

屋内消火栓の部競技要領

1 基本事項

- (1) 人 員 1チーム2名
- (2) 出場順位 各競技の出場順は、Google フォームでの参加申込み順。
- (3) 準備品 ホース40mm2本(長さは15m以上)
手袋(材質は問わない、軍手でも可)※1
ヘルメット※2
事務局準備品 ゼッケン
筒先
※1※2について、無い場合は事務局が貸出します。

(4) 審 査

- ア 計時は、注水操作の所要時間を100分の1秒まで計測する。
- イ 注水所要時間は、1番員の「操作始め」の「め」から標的が倒れたときまでを計測する。
- ウ 注水所要時間1秒につき1点の減点。所要時間減点と審査減点を合計し、持点200点から合計点を引いた点数をチームの得点とする。得点の大なるものを優位とする。
- エ 同点の場合は、審査減点の少ないチームを優位とする。

2 協定事項

競技開始前

競技者は、ヘルメット、ゼッケン、手袋を着用する。

3 減点項目

- (1) 1番員の「操作一始め」の号令中に行動した - 3点
- (2) 号令、受令位置不適(放水始め) - 5点
- (3) 係員の警笛と旗の合図前に行動した - 5点
- (4) 注水線より前に出て放水した - 5点
- (5) 規律(全般を通し) - 3点
- (6) その他動作を省略した(タイムに関すること) - 5点
- (7) 器具取扱粗暴(金具の引きずり1m以上) - 3点
- (8) 1番員の「放水始め」の号令前にバルブを開き送水した - 10点
- (9) 競技中に転倒した(両手や尻もちをつくなど明らかな転倒) - 10点

4 服 装

チームで統一した服装とする。(動きやすい服装とし、長袖が望ましい)

屋内消火栓の部 実施要領

実施項目	実 施 要 領
待 機	係員の指示により、操作員は右から 1、2 番員の順に集合線上に整列休めの姿勢で待機する。
開始報告	1 番員 係員の警笛と白旗の合図で姿勢を正し、「気をつけ」と号令し、受令者に挙手注目の敬礼を行い「〇〇自衛消防隊、ただ今から屋内消火栓操法を開始します。」と報告し、受令者に挙手注目の敬礼をする。 2 番員 1 番員の開始報告中は、気をつけの姿勢で待つ。
想 定	1 番員 「火点は前方の標的、ホース 2 本、1 線延長。」と想定をあてる。 2 番員 気をつけの姿勢で 1 番員の想定を受ける。
1 線延長	1 番員 「操作一始め」と号令する。次に筒先を持ちホースは 1 番員、2 番員共同で延長する。ゲート（防火戸）前にて一時停止し「煙確認」と呼称した後ゲート（防火戸）を開けてホースを延長する。号令線を越えた位置で 2 番員に対し右手を真上に上げ「放水始め」と号令する。2 番員の復唱後さらに延長し、注水線の前で標的に向けて注水姿勢をとる。 2 番員 1 番員の「操作一始め」の号令に「よし」と呼唱、操作を開始する。消火栓ボックスの扉を開きホースを 1 番員、2 番員共同で延長する。受令線を越えた位置で、1 番員の「放水始め」の号令に対して右手を真上に上げ復唱した後、ゲート（防火戸）を開けて消火栓ボックスに戻る。起動スイッチを押し、バルブを開き送水する。送水後、ゲート（防火戸）を開けて、注水地点に戻り、1 番員の約 1 歩後方の反対側でホースを持ち「よし」と合図して、注水操作の補助を行う。
放水中止	1 番員 係員の警笛と赤旗の合図で、「放水止め」と号令する。送水が停止した後、「よし」と呼唱し筒先をその場に置き、後方に向きを変え集合線上に戻り整列する。 2 番員 1 番員の「放水止め」を復唱し、後方に向きを変え、消火栓ボックスに戻りバルブを閉める。集合線上で 1 番員が到着するのを待ち整列する。
終了報告	1 番員 受令者に挙手注目の敬礼を行い「〇〇自衛消防隊、屋内消火栓操法を終了しました。」と報告し、挙手注目の敬礼を行った後、2 番員に「右向け一右」「かけ足一進め」と号令し、先頭になって退場する。 2 番員 1 番員の終了報告中は気をつけの姿勢で待つ。次に 1 番員の「右向け一右」、「かけ足一進め」の号令で 1 番員の後に退場する。
器具撤収	競技終了後、直ちに撤収する。